1 N □ ₩	カー米回る	等専門学校	交界	開講年度	平成31	上年度 (2	019年度)	授	業科目	電子情報	工学基礎演習	₿B	
科日星	礎情報												
科目番号	를 -	0010					科目区分	専門 / 必修					
受業形態 演習							単位の種別と単	並位数	履修単位				
開設学科	<u></u>		報工学科				対象学年		2				
開設期	後期						週時間数		2				
教科書/	教材	教科書著,新	: 新井一道 微分積分II	道他著,新微分積分I,大日本図書 新井-							井一道他		
担当教員	Į	藤田 悠	ζ										
到達目]標	•											
微分法・		ンフトル・行 (フトル・行 (こ1)の達成 (列に関する とする.	る演習を通し	じてそれぞ	れの基礎	事項を理解する	とともに	, 基本的な	問題を解くる	ことができる. こ	これらを	
ルーブ	「リック												
			理想的	的な到達レ	ベルの目を		標準的な到達し	/ベルのE		未到達レ	ベルの目安		
				微分法の発展問題を解くことがで			微分法の問題を解くことができる				微分法の問題を解くことができな		
微分法の	の応用			微分法の応用の発展問題を解くことができる			微分法の応用の問題を解くことが できる			微分法のI できない	微分法の応用の問題を解くことだ できない		
ベクトル			でき	ベクトルの発展問題を解くことが できる			ベクトルの問題を解くことができ る		ベクトルの問題を解くことができ ない		とができ とができ		
行列			行列の	行列の発展問題を解くことができ			行列の問題を解くことができる		行列の問題	行列の問題を解くことができない			
―――	到達目標	1百日との1		a									
	/刘廷口伝	火口しり	ガボ										
(C-1)	->+ f/5												
教育方	法寺		\	. 1/1 A31 - · · ·	* 1 -2 -2 -	:		40-41111	· - · · · · -				
概要		工学で <i> </i> を行う。	必要となる	数学の基礎	党力を身に	つけるため	め,微分積分 I,	線形代数	双Iで学習	した内容の復	夏習を中心にした	問題演	
授業の治	 進め方・方法			 『を中心とし	, 小 テ フ	トを行う							
注音占		毎回実施 小テス 補習に	て100点に	.なるまで学	習するこ	価する. かった場 とで, そ0	合は, 補習を受 D小テストの評値	5を60点	とする.				
注意点		毎小補くな課人と	施する小テ トで100点に イスアワー 16:00 ~ 科目は電子 目は電子	なるまで学 -> 17:00, 電	習すること	価する. かった場 とで, そ0	合は,補習を受	5を60点	とする.				
	- ini	毎小補く放く先修科	施する小テ トで100点に イスアワー 16:00 ~ 科目は電子 目は電子	:なるまで学 -> 17:00, 電 8科目>	習すること	価する. かった場 とで, そ0	合は, 補習を受 D小テストの評値	5を60点	とする.				
	·画 	毎小補く放く先くの大人を	施する小テ トで100点に て100点に イスアワー 16:00 ~ 科目は電子 目は電子	:なるまで学 -> 17:00, 電 逐科目> 弱報工学基礎	習すること	価する. かった場 とで, そ0	合は, 補習を受 D小テストの評値	mを60点 	とする.	<u>.</u>			
	·画	毎回テスにフ後のでは、	施する トで 100点に て100点に イ16:00 料目 は電子 授業 内名	:なるまで学 -> 17:00, 電 科目> 情報工学基礎	習すること	価する. かった場 とで, そ0	合は, 補習を受 D小テストの評値	西を60点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	とする. の到達目相		ができる		
	画	毎回ティスにフ後修り 大きの はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいか	施する合格に 大で100点に イ1スアロー イ16:00・ 科目は 野型・ 大学・ 大学・ 大学・ 大学・ 大学・ 大学・ 大学・ 大学	なるまで学 -> 17:00, 電 科目> 毒報工学基礎 S レスと演習	習するこ 3子情報工: 陸演習 A	価する. ゆかった場 とで,その 学科棟2F	合は, 補習を受 D小テストの評値	画を60点 ・ 週ごと 本授業	とする. の到達目様 の概要を 1	異解すること			
	一画	毎回ティスにフ後修科考 週 1週 2週	施する内 トで100点ワー イステで100点ワー 100点 100点 100点 100点 100e 100e 100e 100e	なるまで -> 17:00, 電 17:00, 電 手報エ学基礎 S レスと演習 : 関数の極厚	習するこ 子情報工: 陸演習 A	価する. かった場 とで, そ0 学科棟2F	合は, 補習を受 D小テストの評値	画を60点 ・ 週ごと 本授業 関数の	とする. の到達目様 の概要を理 極限につい	理解すること \て理解する	ことができる	Z	
	·画	毎回テ留才課先修備考別の 1週 2週 3週 3週	施下で10点に を	なるまでう -> 17:00, 電 17:00, 電 17:00,	で習するこ で子情報工で を演習 A と導関数 な関数の導	価する. はかった場 とで、その 学科棟2F	合は, 補習を受 D小テストの評値	画を60点 週ごと 本授業 関数の さまざ	の到達目標 の概要を3 極限についまな関数のままな関数の	理解すること \て理解する D導関数を求	ことができる めることができ [;]		
	·画 3rdQ	毎回ティスにフ後修科考 週 1週 2週	施トで100mm を	なるまで -> 17:00, 電 17:00, 電 手報エ学基礎 S レスと演習 : 関数の極厚	習するこ 記子情報工 整演習 A 退と導関数 以関数の導	価する. はかった場 さで、その 学科棟2F 算関数(1) 算関数(2)	合は, 補習を受 D小テストの評値	画を60点 ・ 週ごとと 関数のできまざっ さまざ	の到達目標の概要を取 を取している。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	理解すること Nて理解する D導関数を求 D導関数を求	ことができる	る	
		毎回ティス (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)	施トて14年 を	なるまで -> 17:00, 電 17:00, 電 17:00,	習するこ 記子情報工 整演習 A 退と導関数 は関数の導 数の変動(1	価する. はかった場 とで、その 学科棟2F	合は, 補習を受 D小テストの評値	で 60点 ・ 週ごと 数で はままさ 関数の さままさ の る	の到達目標の概要を取極限についまな関数の まな関数のまな関数の まな関数の まな関数の は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	理解すること 1て理解する D導関数を求 D導関数を求 由点などの性	ことができる めることができ [;] めることができ [;]	- る とができ	
		毎回ティスにフ後修科者という。 おりまれる はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいか	施トて1イ16目は ・	なるまで -> 17:00, 電 17:00, 電 17:00, 電 17:00, 電 20:00, 電 20:00, 20:0	習するこ 記子情報工 整演習 A 限と導関数の導 は関数の導 数の変動(2	価する. はかった場合 とで、その 学科棟2F で 学科棟2F で は は は は は は は は は は は は は	合は, 補習を受 D小テストの評値	で 60 点 週 本 関 さ き 関 さ ま ま 数 の の さ ぎ ぎ の の の で と 関 る 関 る 関 る し の の の で の で の で の で の で の で の で の で の	の到達目標の概要を理極限についまな関数のまな関数の増減,変更増減,変更増減,変更	理解すること ハて理解する D導関数を求 D導関数を求 由点などの性 由点などの性	ことができる めることができ めることができ 質を理解するこ。	- る とができ とができ	
授業計		毎回ティスにフ後修科考 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週	施トて1イミン (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	なるまで -> 17:00, 電 17:00, 電 17:00, 電 17:00, 電 20:00	習するこ 記子情報工: 計算習 A 限と導関数 は関数の導 数の変動(1 数の変動(2 なの変動(2	価する. はかった場で、その学科棟2F 学科棟2F は関数(1) は関数(2) は1) に対しては、これでは、10円のでは、1	合は, 補習を受 D小テストの評値	で 60 点 過本関さままで 選本関さままで はさままで はさままで はないできません。 はないできをもないでもないでもないでもないでもないでもないでもないでもないでもないでもないで	の到達目標の概についてまな関数の まな関数の まな関数の 増減,変の 増減,変の 増減,変の	理解すること 1て理解する D導関数を求 D導関数を求 由点などの性 由点などの性	ことができる めることができ めることができ 質を理解するこ。 質を理解するこ	る とができ とができ きる	
受業計		毎回ティスにフ後修科者 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	施トて14目と を	なるまでで、 17:00, 電 17:00, 電 17:00, 17	習するこ 三子情報工 ・ を演習 A と導関数 は関数の導動の変動(1 数の変動(2 3いろな応	価する. はかった場 学科棟2F 学科棟2F 「関数(1) 「関数(2) 1) 5用(1) 5用(2)	合は, 補習を受 D小テストの評値	で 60 点 週本 関 さ さ 関 る 関 る 微 微 微 微 微 か 分 法	の到達目標の概要を到極限につめて、	理解すること 1て理解する D導関数を求 D導関数を求 由点などの性 由点などの性	ことができる めることができ めることができ 質を理解するこ。 質を理解するこ。 を解くことがで を解くことがで	る とができ とができ きる	
受業計		毎回ティス (ロップを) (施トてイ16:00 本 で100・電	なるまでで、 17:00, 電 17:00, © 17:00, © 17:00, © 17:00, © 17:00, © 17:00, © 17:	習するこ 三子情報工 ・ を演習 A と導関数の は関数の変動(1 数の変動(2 るいろな応 ベクトル(1	価する. はかった場合 学科棟2F 学科棟2F は関数(1) に関数(2) には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	合は, 補習を受 D小テストの評値	で 60 m を 60 m を 60 m を 60 m を 60 m で 1 m を 60 m を 60 m で 1 m を 60 m を 60 m で 1 m を 60	の到達目標の概についまな関数の まな関数の まな関数の は増減、変い 増減、変い を適用可能 でクトルを	理解すること 1で理解する D導関数を求 D導関数を求 由点などの性 由点などの性 とな応用問題 とな応用問題	ことができる めることができ めることができ 質を理解するこ。 質を理解するこ。 を解くことがで を解くことがで	る とができ とができ	
受業計		毎回 回 回 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	施トて1イ1科目/ すで10スで10、10、10、10、10、10、10、10、10、10、10、10、10、1	なるまで、	型するこ 三子情報工 主演習 A と導関数の は関数の変動(2 もの変動(2 ものでな応 ものでながであるながである。 でクトル(1 でクトル(2	価する. はかった場で、その 学科棟2F で 対域(1) には、	合は, 補習を受 D小テストの評値	でを60点 ・ 週本関数まま数のの法と業のできまる。 関る 微微平平 できまる かんが でんしょう はんしょう はんしょく はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょく はんし はんしょく はんしょ	の到達目標の概についまな関数のままな関数のででである。 まな 関数の できる はいまな 関数の できる はいまな 関数の できる はいまな はいまな はいまな はいまな はいまな はいまな はいまな はいまな	理解すること へて理解すること で理解する の導関数を求 の導関数を求 由点などの性 由点などの性 とな応用問題 をなな に理解できる	ことができる めることができ めることができ 質を理解するこ。 質を理解するこ。 を解くことがで を解くことがで	る とができ とができ	
授業計	3rdQ	毎回 回 回 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	施トて14目/ ・	なるまで、 電	習するこ 三子情報工 主演習 A と導関数の は関数の変動(2 ものの変動(2 ものの変動(2 もののでもなん もののでもなん ものしたした。 ものもなん ものもな ものもなん ものもなん ものもなん もの	価する. はかった場で、その 学科棟2F では関数(1) に関数(2) には、	合は, 補習を受 D小テストの評値	で 60 点 で 2 買 の と 業の で 3 数 分分 面 の の の の の の の の の の の の の の の の の	の の の で で で で で で で で で で で で で	理解すること へて理解すること へて理解すること で理解するの ではいる ではいる ではいる ではいる ではいる ではいる ではいる ではいる	ことができる めることができ めることができ 質を理解するこ。 質を理解するこ を解くことがで を解くことがで	る とができ とができ	
授業計		毎小補 < 放 < 先 <	施トて14目/ ・	なるまで、 17:00, 17:00, 17:00, 17:00, 17:00, 17:00, 17:00, 17:00, 17:00, 17:00, 17:00, 17:00, 18:00	習するこ 三子情報工 主演習 A と導関数の は関数の変動(2 ものの変動(2 ものの変動(2 もののでもなん もののでもなん ものしたした。 ものもなん ものもな ものもなん ものもなん ものもなん もの	価する. はかった場で、その 学科棟2F では関数(1) に関数(2) には、	合は, 補習を受 D小テストの評値	で 60 点	の到達目標の概についてのでは、では、これでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	理解すること へて理解すること つ導関数を求 つ導関数を求 由点などの性 由点などの性 とな応用問題 と理解できる と理解できる と理解できる	ことができる めることができ めることができ 質を理解するこ 質を理解するこ を解くことがで を解くことがで	る とができ とができ	
授業計	3rdQ	毎小イボー (1) 日本 (施トて14目A	は	習するこ 記子情報工: 計画習 A	価する. はかった場で、その学科棟2F	合は, 補習を受 D小テストの評値	で 60 本関さま数 数 強平平空間 で 2 対 数 まま数 数 法法の の で 空間 列 の で 空間 列 の で で で で で で で で で で で で で で で で で で	の一型達目をでいる。 の一型達目をでいる。 の一般では関数では、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	理解すること)で理解すること)で理解すること)づ導関数を求 の対 があるが の性 はなが にの性 にななが にの性 にななが にの問題 に理解でできる で理解できる で理解できる に理解できる に理解できる に理解できる になる になる になる になる になる になる になる になる になる にな	ことができる めることができ めることができ 質を理解するこ 質を理解するこ を解くことがで を解くことがで	- る とができ とができ きる きる	
授業計	3rdQ	毎回示されている。 毎回示されている。 毎回示されている。 毎回示されている。 毎回示されている。 毎回によっている。	施トてイ1科目〉 一で107年で107年で107年で107年で107年で107年で107年で107年	は	習するこ 記子情報工: 計画習 A	価する. はかった場で、その学科棟2F	合は, 補習を受 D小テストの評値	でを60 週本関ささ関る関る微微平平空空行行 を対象ままめ、の分法ののののののののののののののののののののののののののののののののののの	とする. の到達度を可の概な関数のでは、 ののでは、 のの	理解すること Nで理解すること D導関数を D導関数をの性 由点なにの用問題を E 理解でできる E 理解でできる E 理解でころる E 理解でころる E で理解でころる E で で きるるが E で で で きるるが E で で で きるるが E で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	ことができる めることができ めることができ 質を理解するこ 質を理解するこ を解くことがで を解くことがで を解くことがで	- る とができ とができ きる きる	
授業計	3rdQ	毎回 回 回 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	施トてイ1科目〉 一で107年で107年で107年で107年で107年で107年で107年で107年	なるまで、 17:00 / 2 を 17:00 / 2 を 18:00 / 2	習するこ 記子情報工: 計画習 A	価する. はかった場で、その学科棟2F	合は, 補習を受 D小テストの評値	でを60 週本関ささ関る関る微微平平空空行行 を対象ままめ、の分法ののののののののののののののののののののののののののののののののののの	とする. の到達度を可の概な関数のでは、 ののでは、 のの	理解すること Nで理解すること D導関数を D導関数をの性 由点なにの用問題を E 理解でできる E 理解でできる E 理解でころる E 理解でころる E で理解でころる E で で きるるが E で で で きるるが E で で で きるるが E で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	ことができる めることができ めることができ 質を理解するこ 質を理解するこ を解くことがで を解くことがで	- る とができ とができ きる きる	
授業計	3rdQ 4thQ	毎回示されている。 毎回示されている。 毎回示されている。 毎回示されている。 毎回示されている。 毎回によっている。	施トてイ1科目〉 一で107年で107年で107年で107年で107年で107年で107年で107年	は	習するこ 記子情報工: 計画習 A	価する. はかった場で、その学科棟2F	合は, 補習を受 D小テストの評値	でを60 週本関ささ関る関る微微平平空空行行 を対象ままめ、の分法ののののののののののののののののののののののののののののののののののの	とする. の到達度を可の概な関数のでは、 ののでは、 のの	理解すること Nで理解すること D導関数を D導関数をの性 由点なにの用問題を E 理解でできる E 理解でできる E 理解でころる E 理解でころる E で理解でころる E で で きるるが E で で で きるるが E で で で きるるが E で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	ことができる めることができ めることができ 質を理解するこ 質を理解するこ を解くことがで を解くことがで を解くことがで	- る とができ とができ きる きる	
授業計	3rdQ 4thQ	毎の 一部	施トて14目A	は 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	習するこ 記子情報 I 記子情報 A 思と 関数の と 関数のの を 数のののののでは、 のののでは、 のののでは、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で	価する. はかった場で、その学科棟2F	合は、補習を受力小テストの評価情報処理準備室	でを60 本関さま関る関る微微平平空空行行行 でで変すままめ、のではののののののののののののののののののののののののののののののののののの	とする. のの極まなは、 は、 でででででは、 できないでは、 できないでは、 できないでは、 できないが、 できないがいが、 できないが、 できないがいが、 できないが、 できないが、 できないが、 できないがいがいがいが、 できないがいが、 できないがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいが	理解すること では では では では できます できます できます できまる では できまる では できまる では できまる では できまる できまる できまる できまる できまる できまる できまる できまる	ことができる めることができ めることができ 質を理解するこ。 質を理解するこ。 を解くことがで を解くことがで を解くことがで ことができる	- る とができ とができ きる きる	
注意点 授 業 計 後期	3rdQ 4thQ	毎年 毎年 毎年 毎年 毎年 毎年 毎年 1週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 11週 11月回 11月回 11日回	施トてイ1科目 /	なっている。 17:00 / 2 17:00 / 2 18:00 / 2 1	習するこ 記子情報 エ 記子情報 A 思と 関数 の と 関数 の 変動 (2 な) のの の ろな かい クトル (2 マクトル (2 マクトル (2 で) クトル (2 で) クトル (2 で) クトル (2 で) で) と行列	価する. はかった場で、その学科棟2F で 対検(1) には (1) に (1	合は、補習を受かかテストの評価情報処理準備室	でを60 週本関ささ関る関る微微平平空空行行 を対象ままめ、の分法ののののののののののののののののののののののののののののののののののの	の一般では、	理解すること Nで理解すること D導関数を D導関数をの性 由点なにの用問題を E 理解でできる E 理解でできる E 理解でころる E 理解でころる E で理解でころる E で で きるるが E で で で きるるが E で で で きるるが E で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	ことができる めることができ めることができ 質を理解するこ 質を理解するこ を解くことがで を解くことがで を解くことがで ことができる	- る とができ とができ きる きる	
授業計	3rdQ 4thQ	毎の 一部	施トてイ1科目〉 ・ で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	は 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	習するこ 記子情報 エ 記子情報 A 思と関数の と関数のの 変動(2 な)ののののでは、 な)ののでは、 な)ののでは、 な)ののでは、 な)ののでは、 な)ののでは、 な)ののでは、 な)ののでは、 な)ののでは、 な)ののでは、 な)ので、 な)ので。 な)ので、 な)ので、 な)ので、 な)ので、 な)ので	価する. はかった場で、その学科棟2F	合は、補習を受力小テストの評価情報処理準備室	でを60 本関さま関る関る微微平平空空行行行 でで変すままめ、のではののののののののののののののののののののののののののののののののののの	とする. のの極まなは、 は、 でででででは、 できないでは、 できないでは、 できないでは、 できないが、 できないがいが、 できないが、 できないがいが、 できないが、 できないが、 できないが、 できないがいがいがいが、 できないがいが、 できないがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいが	理解すること では では では では できます できます できます できまる では できまる では できまる では できまる では できまる できまる できまる できまる できまる できまる できまる できまる	ことができる めることができ めることができ 質を理解するこ。 質を理解するこ。 を解くことがで を解くことがで を解くことがで ことができる	- る とができ とができ きる きる	